

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 669 号

2017年3月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

2016年生産

アルミ鋳物・ダイカストともに増加

経済産業省がこのほど発表した2016暦年（1月～12月）の生産動態統計による生産量は、

- ・アルミニウム鋳物 423,657トン
- ・アルミニウム・ダイカスト 957,870トン

で、アルミニウム鋳物の生産量は前年比1.2パーセントの増加、アルミニウム・ダイカストの生産量は前年比0.5パーセントの増加となり、鋳物は3年連続して前年実績を超え、ダイカストも2015年のマイナス2.4パーセントから増加に転じた。

アルミニウム鋳物

アルミニウム鋳物は、一般機械が2.3パーセントの減少で、2年連続のマイナス、マイナス幅も前年から拡大した。8月以降、政府による物作り補助金の後押しで内需が回復したが、前半のマイナスを補うまでには至らなかった。

輸送機械（自動車とその他）は、1.3パーセントの増加で3年連続のプラスとなった。自動車生産が国内販売の復調を受けて需要が緩やかに回復、1.3パーセントの増加は3年連続の増加であった。

公共事業や土木、建築関連などが含まれるその他も1.8パーセントの増加となり、2年ぶりで増加に転換した。熊本地震の復興需要や、台風・大雨といった自然災害対策など公共関連の需要が増加し、生産量は5、6、8月は2桁増を記録した。

アルミニウム・ダイカスト

アルミニウム・ダイカストは主力の自動車が2年ぶりのプラスに転じ、1%の増加となった。

二輪車は国内販売台数の伸び悩みと海外生産へのシフトにより、4.8パーセントの減少となり、6年連続して前年水準を下回った。

一般機械は、下期にかけて需要は回復したが、5.4パーセントの減少で、6年連続のマイナスとなった。

電気機械は設備投資の減少により、9.4パーセント

2016年生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ鋳物	423,657	+1.2
②一般機械	8,039	-2.3
③輸送機械	404,113	+1.3
④その他	11,505	+1.8
⑤アルミ・ダイカスト	957,870	+0.5
⑥一般機械	26,837	-5.4
⑦電気機械	16,167	-9.4
⑧自動車	857,714	+1.0
⑨二輪車	25,861	-4.8
⑩その他	31,291	+1.3

の大幅な低下となり、2年連続して前年実績を下回る結果となった。特に後半に入り、投資が大幅に減少して前年同月比で2桁のマイナスを記録するなど内需の低迷が深刻化した。

本年の見通し

アルミニウム合金の需要は主力を占めるアルミニウム・ダイカストの生産は、2014年が前年比1.6パーセントの増加、2015年が2.4パーセントの減少、そして2016年が0.5パーセントの増加と小幅な一進一退で大きな変化はなく、本年も増減は少ないと考えられる。

しかし本年に入り、米国のトランプ新政府は保護経済政策を掲げて発足し、国際貿易の方向が今日はっきりしていない。選挙公約の高関税政策の行方が大いに懸念されるところである。

2017年アルミニウム缶需要 224.6億缶を予測

アルミ缶リサイクル協会（理事長・遠藤政宏氏・昭和アルミニウム缶株式会社社長）は2月17日、2016歴年（1月～12月）の飲料用アルミニウム缶の需要見込みと、2017歴年の需要予測を発表した。

これによれば2016歴年の需要量は、ビール系の飲料が前年に引き続いて落ち込んだものの、ビール系以外のすべての分野はプラスを維持した。

特にビール以外のアルコール缶は前年に引き続き好調を維持して全体をリードした。これは、RTDと呼ばれるレディ・トゥ・ドリンクのチューハイ、カクテルやハイボール等低アルコール飲料向けの栓を開けてそのまま飲める缶が増加していることによる。

結局、2016歴年の国産缶の出荷量は、対前年比1%増の216万4千缶と見込んだ。

2017歴年については、最大需要のビール缶の需要は依然として回復しないと予想して1%の減少と予想

したが、前年と同様にRTDのビール以外のアルコール飲料缶が好調を維持して、合計では1%増の217万7千缶と予測した。

協会では、今後のアルミニウム缶需要の趨勢についてはコーヒー缶のスチール缶からの転換が巡し、さらに金属以外の容器との競合もあって、これまでのような高い需要の伸びは期待しづらいと見ている。

また、使用済みアルミニウム缶の輸出量が2016年に6万トンを超えた事案に対しても協会は注目している。

過去10年間の日本のアルミニウム缶の需要量の推移は下記の通りである。（単位・億缶）

・2006年	183.6	・2011年	188.0
・2007年	185.2	・2012年	191.3
・2008年	184.3	・2013年	194.5
・2009年	182.4	・2014年	201.4
・2010年	185.8	・2015年	222.0

日本の飲料用アルミニウム缶需要量（1～12月）

（単位：億缶、カッコ内は前年比%）

暦年		2015年実績	2016年実績見込み	2017年予測	
A 向先別 国産缶 出荷量	ビール（発泡酒・新分野含む）	99.7 (99.0)	98.0 (98.0)	96.5 (99.0)	
	ビール 以外の 飲料	その他のアルコール	28.7 (117.0)	32.2 (112.0)	33.8 (105.0)
		非アルコール	85.7 (125.0)	86.2 (101.0)	87.4 (101.0)
	ビール以外の飲料計		114.4 (123.0)	118.4 (104.0)	121.2 (102.0)
	小計		214.1 (111.0)	216.4 (101.0)	217.7 (101.0)
	（うちボトル缶数量）		25.6 (113.0)	29.5 (115.0)	31.0 (105.0)
B	空缶輸入量	0.5 (100.0)	0.5 (100.0)	0.5 (100.0)	
C	実缶輸入量	8.0 (100.0)	7.5 (94.0)	7.0 (93.0)	
D	実缶輸出货量	0.6 (100.0)	0.6 (100.0)	0.6 (100.0)	
E	国内需要量計（A+B+C-D）	222.0 (110.0)	223.8 (101.0)	224.6 (100.0)	

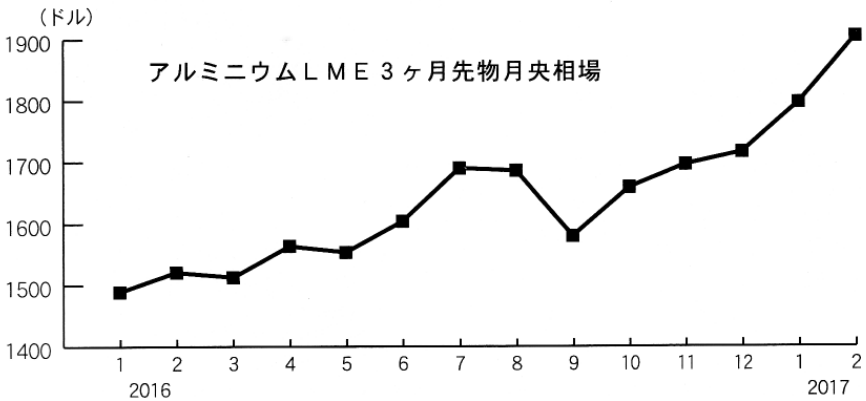
アルミニウムLME相場 2年ぶりに1,900ドル台

2014年12月に2,000ドルを割込んだアルミニウム新地金のロンドン金属市場3ヶ月先物相場は、2015年12月には1,400台まで落込んだが、2016年に入って緩やかな上昇に転じ、年末から急上昇して2月には1,900ドル台をマークした。

市況反転の原因はいろいろな説があるが、長期の不況で原価高の生産者の脱落や減産、ボーキサイト原産

国の変化、エネルギー市況の反転など、複合した要素が存在すると考えられる。

2,000ドルに近づけば、精錬工場の稼働率も高まると同時にLME倉庫の在庫が市中へ流出すると考えられる。世界生産の過半を占める中国の政策に不明な点が多いが、アルミニウムの需要は世界的に順調に拡大を続けるものと考えられる。



サル 出 没

サル年が去り、酉年を迎えたが、1月末になって突如サルがアスカ工業株式会社の敷地内に現れた。

2月1日、出社した社員は張り出された掲示板を見て驚いた。

”サルが出没します。注意してください。”

幸い、人的、物的な被害はなく、その後の目撃者情報によれば南下して三河湾沿岸部へ近付いている様子。

西尾市では「目を合わさない・近寄らない・戸じまりをしっかりする」よう呼びかけており、今まで人の被害や農作物にも大きな被害はないという。

アスカ工業から数キロメートル南下したサルは、自動車の交通量の多い幹線道路を何本も横断して海岸部へ到達、渡洋の方策についてサル知恵を絞っているかも知れぬ。

三河灣の しおひがり

西尾市の三河湾沿岸には8ヶ所の潮干狩り（しおひがり）のスポットがあり、2月28日にオープンする。当地の「あさり」貝は極めて質が高く、全国的に有名である。

西尾市は積極的に宣伝中で、お問い合わせは西尾市観光協会（電話0563-65-2169番）へ。ただし、干潮時刻と天候により、交通渋滞の起る可能性があり、ご注意のほど。



〔西尾観光ガイドマップより〕

社内情報

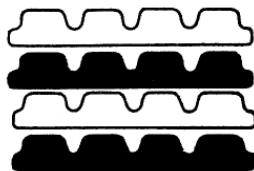
- ◎昨年はダイカストも鋳物も順調な生産実績が報告されてご同慶の至りです。
- ◎日足が伸び、春の本格的な到来が間近です。隣接する矢作川の大堤防が、若芽で美しく化粧する絶好の季節を迎えます。
- ◎好天の折、是非ご来遊をいただき、矢作川の風情をお楽しみ下さい。

編集後記

- アルミニウム缶の需要は順調な伸びが予想され、ご同慶にたえません。
- ビールの需要が振るわない理由は理解が出来ません。日本のビールは、品質も価格も安定しており申し分ないアルコール飲料だと思います。
- ご愛読者の各位と一緒に、編集子もこの夏は缶ビールを愛飲します。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガ、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500代
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>